



国労西日本

国労西日本本部

NO.277

発行責任者 森田 文一
編集責任者 片岡 有宏

変えよう
安全を守る
職場風土に



2019年国民春闘勝利 安全・安心の鉄道と社会を作ろう 3.13国労西日本総行動

契約社員の正社員化・労働条件の改善

JR間の格差の是正を

西日本低額回答に抗議 貨物の満額回答を

3月13日13時30分より国労大阪会館で、春闘決起集会を開催した。西日本本部からは交渉状況、組織拡大行動などを報告し、その後、JR西日本本社前・JR貨物関西支社前行動には、400名の組合員が結集し、「西日本会社の低額回答に抗議」と、貨物会社へ満額回答などを求めた。



春闘決起集会では、藤野副委員長の司会で始まり、森田委員長の挨拶では、交渉状況、安全問題、憲法改悪など政治

状況等を、連帯のあいさつとして、大阪労連・川辺顧問は大阪の政治情勢等、本部佐々木副委員長からは、全国の春闘情勢・組織拡大行動などを情勢報告、新田業務部長からの交渉経過報告を受け、全体で確認してきた。



JR西日本本社前・JR貨物関西支社前行動は、中野副委員長が、森田委員長が、「西日本会社の回答には、抗議の意を表明している。貨物会社には有額回答を求めていきたい。」と訴えた。佐々木副委員長、関西貨物協議会工藤事務長、各地方本部委員長の決意表明があった。最後に、大北青年部長が、シユプレヒコールを熱い思いを込めて行った。



国労西日本本部 森田執行委員長決意表明要旨

とを改めて強く訴えるものです。

安全・安心のJRに

1兆円内部留保を取り崩せ 貨物賃金抑制許さない



「JR西日本グループ鉄道安全全行動計画2022」がスタートしましたが、関連・協力会社において「墜落事故」「感電事故」での労災死亡事故が相次いで発生しました。委託、外注先の劣悪な労働条件などが大きな要因となっています。

西日本会社は、本日、最終回答としてベア1,000円、期末手当を年間臨給として5.48か月を示してまいりました。この回答は厳しい生活実態から生活改善を求める我々の要求とは大きくかい離しており到底納得のいくものではありません。内部留保は、すでに1兆2444億円に達しており、この一部を取り崩すことにより、契約社員の正社員化と国労要求の12,000円の賃金引上げは十分に可能であり、本日の低額回答に対し強く抗議の意を表明するものです。

ワンマン運転の拡大、駅の無人化等による「合理化」が推進されてきています。こうした施策により安全とサービスが大きく切り捨てられてきておられることを利用者、国民に宣伝し、持続可能な公共交通として地方ローカル線を守る運動を強化しなければなりません。

安倍政権を退陣に追い込む闘いを

一方、貨物会社は、昨年の自然災害による減収を口実に、「定期昇給4号俸は実施するが、ベースアップについては難しい」と賃金抑制を強めようとしていることに厳しく抗議をすることと、有額回答を強く求めるものです。1月は事業計画が年間累計で上回っています。会社はこの労苦にしっかりと報いるこ

安倍政権は、消費税増税実施を断行しようとしています。いつそこの消費不況を深刻にし、日本経済に打撃を与える消費税増税を認めるわけにはいきません。消費税増税を中止させるため、国民的運動を強めましょう。

安倍首相が念願とする改憲を阻止し、日本の平和と民主主義を守り、安倍政権を退陣に追い込む闘いと2019年国民春闘勝利を最後まで闘う決意を表明します。

決意表明

国労本部

佐々木副委員長



JR各社で回答が出されようとしている。消費税引上げよりも、賃金大幅引上げの方が景気回復の特効薬となる。企業の社会的責任だ。

国労が全国単一組織として、職場・地域から、運動の先頭に立つことが重要だ。客貨一体の闘いを強化し、貨物の有額回答をさせよう。組織拡大は、29歳の貨物の仲間が加入した。引き続き、頑張っていこう。

関西貨物協議会

工藤事務長



貨物会社は、「ベア・ゼロ」を示唆する発言を行った。社員の生活を守る責任を果たすべきだ。

また、「新しい人事制度の導入」は、人件費を抑制する施策である。この制度

に不安を持ち5名の仲間が国労加入を果たした。春闘要求署名も1,242筆集約した。満額獲得に向け、奮闘していく。

北陸地方本部

羽柴委員長



統一早朝宣伝行動・現場長申入れを行った。ワンマン化反対の宣伝・アンケートを取り組んできた。今後も春闘を精一杯闘い抜く。

米子地方本部

倉下委員長



春闘討論集会を全支部で開催した。「賃上げ」は社会的運動である。職場では、年休取得等の権利が守られていない。今後、現場長交渉を強めていく。

岡山地方本部

後藤委員長

大衆行動を積み上げると共

にストライキを背景とした闘いをした。駅の無人化・ワンマン化反対を掲げ地域宣伝行動・支社前行動を展開した。今後も関連会社の交渉・地域春闘・地方統一選挙に奮闘していく。



広島地方本部

福田委員長



主要駅で早朝宣伝活動を行った。職場では、労働条件・賃

金に対して不満を持ち、国労に期待をしている。最後まであきらめず、職場・関連会社・地域の仲間と団結して、奮闘していく。

近畿地方本部

西園委員長



西日本会社の1,000円の回答に抗議する。貨物会社に対しては、大幅賃上げを要請する。近畿各地で地域の仲間と共に早朝統一宣伝・デモ行動を行っている。今後も精一杯頑張っていく。

2019年春闘要求に対するJR西日本会社回答への判断について

国労西日本本部は、安倍・自公政権による平和と民主主義、国民生活の破壊を許さず、大企業の内部留保を国民・労働者に還元させる国民的諸課題と全てのJR労働者におけるベアの実施、非正規労働者の正社員化・無期契約化、会社間・労働者間の格差是正と職場要求を給合させて闘いを進めていくことを第39回拡大西日本本部委員会で決定し、全機関でストライキ体制の確立をはじめとして、様々な運動の強化を図ってきた。

安全・安心の職場と鉄道輸送を確立するために職場で奮闘している組合員・社員の労苦に報いるよう、1兆円以上の内都留保全を取り崩し労働者に還元することを求め、闘申9号（賃金引上げ等）、申14号（賃金制度）、申15号（期末手当等）について交渉を強化するとともに、全機関から職場要求の前進と組織拡大行動を取り組んできた。

3月13日の回答では、①基準昇給については、昨年同様に実施する、②ベースアップは1,000円の有額回答、③年間臨給については、5.48箇月分（夏2.74箇月、冬2.74箇月）、④初任給調整手当の適用、⑤九州地方における通勤手当を追加する。また別途口頭回答として「貴側からの強い要求である地上職の待遇改善に対し地上職の単純な手当だけでなく、定年制・退職金の制度の改善を含めた賃金制度の見直しについて早い時期に検討したい」との表明があった。我々は「国労要求や組合員の生活実態から乖離しており本日の回答に対し強く抗議するとともに、持ち帰り検討する」とし、3月13日に本社前にて抗議行動を行ってきた。

3月18日に開催した第9回執行委員会において、①ベアについては要求と乖離した1,000円ではあるが6年連続の有額回答、②年間臨給等においては、不十分であるが5.48箇月の回答など国労要求からの乖離はあるものの、上記の回答を一定の要求の前進と受け止め、最終回答については妥結の判断を行うこととする。

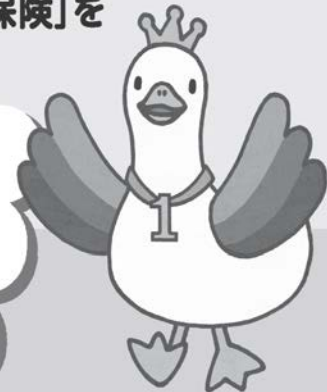
職場・地域で奮闘された各級機関と組合員のみなさんに心から敬意を表するとともに、3・13国労西日本総行動を400名の参加で大きく成功させていただいたことについて、感謝の意を表するものである。

引き続き、新規採用者対策等の組織拡大、非正規社員の社員化、シニア・契約社員の労働条件改善等の前進に向けて運動を強化することとし、あわせて最終回答までベアの有無等を一切明らかにしない不当な会社側の交渉姿勢について引き続き是正を求め闘っていく。

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

アフлакはがん保険契約件数No.1

NEW/ 生きるためのがん保険 Days 1



NEW/ 女性特有のがんにも手厚い 生きるためのがん保険 Days 1

NEW/ あなたの保険を最新化 生きるためのがん保険 Days 1プラス

すでにアフлакのがん保険にご契約の皆様へ

■募集代理店(アフлакは代理店制度を採用しております)

アベニール株式会社 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階 TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引)受保会社)

「生きる」を創る。アフлак 東京第二法人営業部 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

AF広宣第2017-0036 1月12日